

この機会を

「家族がふれあいを深めるまたとない時間が保障された」と考えて  
〈とりあえず 第1号〉

## 1 体育科 「前回の臨時休業時：子どもたちの体力低下が心配だという声」

子どもたちの体力・運動能力の現状で言われ続けているのが、筋力の低下です。とりわけ、腹筋力の低下が課題です。

自分の体重を両腕で支えられる腕力や瞬発力につながる腹筋は、転倒時にとても重要です。

→ **学校の体育学習だけではなかなか効果を上げられない「筋力アップの運動」はいかが？**

◇ 今やインターネット上に情報が満載！一緒に検索して、お子さんに合ったものにトライ！負荷を少しずつ増やすのがコツです。



※ やり過ぎや無理な運動には注意しましょう。あと、無理にやらせて運動嫌いにさせないで！

## 2 図画工作と家庭科、国語科、算数科

「前回の臨時休業時：家で過ごす時間が長くてつまらないという声①」

学校の授業でもっと時間を掛けることができれば、もっといいのと思う一つが作品の制作です。絵を描く、すごく丁寧に文字を書く、物をじっくり作るなどなかなか学校では時間を掛けられない場合があります。

→ **様々な図形を組み合わせて「デザイン画や裁縫など」にトライしてみるのもよいのでは？**

◇ 例えば、を描く時は、コンパス、や☆を描く時は、分度器とコンパスを使うときれいに描けます。算数の学習にもなりますし、道具を使いこなせることにもつながります。文字も、**レタリング**（これは明朝体）で書いてみると楽しいですよ。学年に合わせて、裁縫や調理（自分で作った弁当をお庭などで）、日曜大工などもよい時間の使い方になるかもです。箱づくりは展開図の学習になります。

※ 調理器具や大工道具など使い方に注意が必要な道具を使用する際は、大人と一緒にやること！ケガをしては、せっかくの学習がだいなしですよ。

## 3 全体 「前回の臨時休業時：家で過ごす時間が長くてつまらないという声②」

子どもたちの学力面で、思考力、判断力の課題が叫ばれていますが、本校の児童も同じような状況にあります。一言で思考力を高めるといってもそう簡単に達成できるものではありません。

学習においては、じっくり考えること、自分の答えや考えを見つけて学習に臨むことが重要です。

→ **「探求活動」が効果的！そのために、お子さんが夢中になれることに時間を掛けて考える時間をつくってみてはいかが？**

◇ インターネット上の話題や情報にも頼りながら、「なぜそうなっているの？」「それって、どういうこと？」と聞いてみてはどうでしょう。お子さんが夢中になれることならどんどん考えていくことでしょう。

このように、「どうして？」という思考で学びに向かうことは非常に重要です。じっくり考える習慣付けにもなりますよ。

坂台 HP に掲載してある「臨時休業中の家庭学習や自学学習に係る情報提供」の諸サイトを御参照ください。

※ あまり難しく考えずに、「どうしてだと思おう？」というやり取りから始めてみましょう！